

校 園 名：北海道教育大学附属旭川小学校

所在地：〒070-0874 北海道旭川市春光4条1丁目1-1

記載日：平成29年 2月 4日 記載者：荒川義弘 記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

本校は、明治34（1901）年に開校し、輝かしい歴史と伝統をもつ日本最北の附属小学校です（開校116周年）。一人一人のよさを認め伸ばす教育を行っています。

<総括目標> 主体的人間の形成

～よく見、よく聞き、よく思い、心も体もたくましい人間をめざします。～

<具体目標（目指す児童像）>

◎思いやる子～美しいものや崇高なものに感動する心を持ち、他の考えや生き方を思いやる子

◎創りだす子～めあてをもって意欲的に追求するとともに、創意工夫を凝らして新しいものを進んでつくりだす子

◎やり遂げる子～自己の目標に向かって、強い意志と健康な体で粘り強く最後までやりとげる子

<めざす学校像>

（1）児童が目を輝かせ、生き生きと学んでいる学校（児 童）

（2）教師が励まし磨き合い、自己の資質・能力を高めている学校（教 師）

（3）保護者や地域の期待に応え、信頼されている学校（保護者）

<めざす教師像>

（1）「**教学一如**」を教育信念として実践する教師（教 育 観）

・「教えることは学ぶことである」の意味を深く理解して教育に当たる。

（2）「**和而励**」を職場訓として組織的に行動する教師（職 員 体 制）

・お互いのよさを認め、励まし合って学校としての教育力を高める。

（3）「**進取創造**」を学びの基本姿勢として自己研鑽する教師（研 修 姿 勢）

・常によりよい教育の在り方を求めて、その内容や方法を追求する。

具体的には、◆教育研究、授業公開、研究協力、学力向上支援に取り組んでいます。

◆教師を目指す多くの大学生や大学院生が、教育実習にきています。

◆幼小中の連携を図った12年道徳を附属旭川学校園の特色としています。

◆全国一の広さを誇る校地に、4つのグラウンド、ペガサスの丘、附小の森、築山、学級園、水田、多様な遊具、飼育小屋、多種の樹木等があります。

◆全校合唱、英語（1～6年）、飼育栽培、季節の運動、12人組活動（1～6年12名の異年齢集団活動）、書を楽しむ集会等に取り組んでいます。

◆琉球大学附属小学校との交流教育を実施しています（16年目、7月と2月）。



〔附属旭川小学校校庭〕

貴校の卒業生の状況について：

○本校卒業生は、毎年多くは附属旭川中学校に進学しています。また、道内私立中学校への進学する児童や住居校区内の公立中学校への進学する児童もいます。

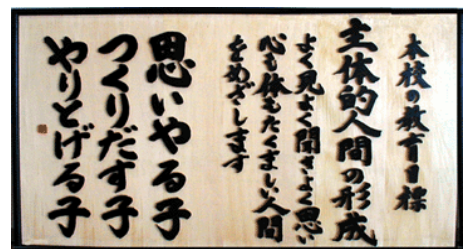
貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍について：

○本校の教職員は、北海道教育委員会との交流人事で配置されています。本校勤務後は、行政職として北海道教育委員会指導主事，旭川教育委員会指導主事，また，管理職として公立学校教頭，教員として復帰し，本校での勤務経験を生かし，各方面で活躍をしています。

魅力のある，特色のある，または，今後，公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

① 一人一人のよさを認め伸ばす教育を行っています。

本校教育目標（右掲載）の実現のため，教職員の共通理解に立ち，保護者の御協力と連携のもとに一人一人のよさを伸ばす教育を推進しています。



〔本校教育目標〕

② 教育研究，授業公開，研究協力への取組

毎年6月に教育研究大会を開催しています。毎年，400名～500名の道内・道外からの参加者が来校しています。今年度は，「自ら知を創る子供の姿」を目指した新研究の樹立に取り組んでいます。また，北海道教育委員会との連携事業により，道内研究団体や公立学校校内研修講師として本校の教員が出向いています。



〔英語の学習〕

③ 教師を目指す多くの大学生や大学院生の教育実習

年間を通して各種教育実習が実施されます。実習中は，教育実習生がこの期間を自主的に進めることやアイデアを出し合っチームで授業構築や授業後の話し合いを進めるなどの体制を整えながら実施しています。このことで，学校現場での協働的な取組を意識することになります。



〔教育実習〕

④ 全国一の広さを誇る校地

4つのグラウンド，ペガサスの丘，附小の森，築山，学級園，水田，多様な遊具，飼育小屋，多種の樹木等があります。自然に触れ，多様な体験ができる学校です。



〔田植え〕

⑤全校音楽集会「附小っ子音楽フェスティバル」

毎年実施しています「附小っ子音楽フェスティバル」では、各学年での発表や全校合唱に取り組めます。またPTA合唱も発表されます。今年は、琉球大学附属小の皆さんとのフェスティバルになりました。



〔音楽フェスティバル〕

⑥琉球大学附属小学校との交流（7月と2月）。

今年度で16回目になります琉球大学附属小学校との交流。最南の附属小学校と最北の附属小学校との交流で、夏と冬に行き来しています。PTAが中心となりスキー体験や旭山動物園見学など、旭川ならではの体験をしています。



〔交流の様子〕

⑪幼小中の連携を図った12年道徳を附属旭川学校園の特色としています。

12年間を見通し、幼稚園・小学校・中学校や家庭・地域との連携を図った道徳教育の充実を図り、自らよりよい生き方を求め、日常生活で実践する子どもを育てることがねらいです。考え・議論するなどの道徳科の授業を通して、道徳教育の改善・充実を図って



〔1年生道徳の授業〕

ます。幼-小、小-中の共通体験を実施し、それをもとに道徳の授業を実施することから、小1プログラムや中1ギャップを解消しスムーズな校種の接続を図ることがねらいです。



〔附属中学校・附属幼稚園との交流を通じた共通体験〕

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか

1 地域のモデル校

毎年6月に教育研究大会を開催しています。毎年、400名～500名の道内・道外からの参加者が来校しています。今年度は、「自ら知を創る子供の姿」を目指した新研究の樹立に取り組んでいます。また、北海道教育委員会との連携事業により、道内研究団体や公立学校校内研修講師として本校の教員が出向いています。

2 地域の学校教育の牽引役

- ① 旭川市立の小・中学校教員が所属する「教科研究会」において、研究部の部長などの重職を務めている本校教員も多く、このような側面からも、地域の教育の発展と充実に貢献しています。
- ② 教科教育の全国、北海道大会の授業を行う教員もいます。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

1 地域で活躍する教員の輩出

本校勤務後は、行政職として北海道教育委員会指導主事、旭川教育委員会指導主事、また、管理職として公立学校教頭、教員として復帰し、本校での勤務経験を生かし、各方面で活躍をしています。

2 教育実習校としての役割

年間を通して各種教育実習が実施されます。実習期間中は自主的に進めることやアイデアを出し合い、チームでの授業構築や授業後の話し合いを進めるなどの体制を整えながら実施しています。学校現場での協働的な取組を意識する実習を推進しています。